

兵庫県のカミキリモドキ
 故高橋寿郎氏遺稿集No. 4
 兵庫昆虫同好会事務局編

細長い肢体と触角は一見カミキリムシを思わせるが故にカミキリモドキと名づけられている。幼虫は朽木や落葉中に見られ、成虫は樹葉上や花上に見られる。灯火に来るものもある。中には人体に触れた時、しばしばその体液中のカンタリジンによって人体皮膚に炎症を起こさせる衛生害虫が含まれている。

日本には現在51種を産することが知られており、なお若干の追加種がいるもようである。

兵庫県産のこの科の甲虫については古くに筆者が発表した(1962)ものがあるが、最近、学名など変更になったものもあつたり新知見があるので、現時点でのこの類の県下産のまとめを発表したいと思う。

なお、学名、種の配列その他は溝田浩二氏の報文(1998)によっている。

Family Oedemeridae カミキリモドキ科

Subfamily Nacerdinae ナガカミキリモドキ亜科

Tribe Nacerdini ナガカミキリモドキ族

1. *Opsimea nigripennis* (Matsumuram1911)

クロカミキリモドキ

本種は松村松年博士が *Oedemera nigripennis* として記載された種である。その後、河野広道博士は *Nacerda nigripennis* (1932), *Enonacerda nigripennis* を用いた。

山地性の種である。分布は北海道、本州、四国、九州、南千島、サハリンと広い。兵庫県では氷の山での記録があるのみであるが、北部山地には分布している種だと考えている。

産地。

養父郡氷の山[大槻,1957]*

2. *Nacerdes (Nacerdes) melanura* (Linnaeus,1758)

ツマグロカミキリモドキ

背面は橙黄色で翅端は黒色、腹面は暗色、腹部末端節の後縁は♂では三角形に中央までえぐられるが♀では丸い。

分布は日本全土、世界各地に分布している種で、

とくに海岸地帯に多く昼間花に集まり、夜間は灯火にも飛来する。

神戸市内などでは5月中旬～7月上旬に出現し、古くは昼間からよく飛翔して、アカメガシワ等の花に集まったが、最近は見かけなくなった。

産地。

兵庫県[黒佐,1958, 溝田,1998].

洲本市先山[堀田,1978].

伊丹市[河上,1984].

宝塚市売布が丘[芦田,1993].

Kobe[Lewis,1855], 神戸市御影[関,1933], 鳥原(3exs.,1.VI.1956,etc.), 山の街(3exs.,1.VI.1958, etc.).

飾磨郡家島[上田,1981].

3. *Nacerda (Xanthochroa) atriceps* (Lewis,1895)

キクビカミキリモドキ

頭部、体下面及び各肢が黒く、わりと容易に識別できる。北海道にはとくに多く灯火に飛来し、人体に皮膚炎を起こさせる。本州でも中央山岳地帯にはさほど稀でないが近畿以西では深い山地に基だ局地的に棲息しているという(黒佐,1958)。

兵庫県下での記録は筆者が氷の山で採集しているのが知られているだけで、県北部山地帯には分布しているものと考えられる。

産地。

養父郡氷の山(1ex.,22.VII.1956)

4. *Nacerdes (Xanthochroa) waterhousei* (Harold, 1875)

アオカミキリモドキ

頭部、前胸背部は橙黄色。上翅は緑色で金属光沢がある。成虫は夏、灯火に飛来する。幼虫は針葉樹の朽木の材部に穿孔し、樹を食べて育つ。初夏の頃、樹木中で蛹化する。黒佐和義博士は本種の生態について詳しく報告しておられ、同時に神戸地方における出現期の詳しい報告をされている(1958)。兵庫県下では普通に産する。

* 記録の文献は筆者著「兵庫県産甲虫類に関する文献目録」(1981,1984,1995,1998)を参照のこと。

産地.

兵庫県[溝田,1998].
 洲本市安乎町[堀田,1978].
 三原郡八木養宜[藤富,1995].
 川西市大和,笹部[仲田,1978,1982], 能勢妙見山
 (1ex.,30.VII.1982).
 伊丹市[河上,1984].
 宝塚市宝塚大橋[新家,1989], 売布が丘南口2丁目
 [芦田,1993].
 神戸市[黒佐,1958], 御影[関,1933], 摩耶山(1ex.,
 15.VI.1979), 烏原(1ex.,24.V.1953,etc.), 石井ダ
 ム(2exs.,16.VI.1992), 藍那(2exs.,21.VI.1993),
 山の街(1ex.,18.VII.1978), 一の谷(1ex.,17.VI.
 1993,etc.), 妙法寺(1ex.,23.VI.1979), 逢山峡
 (2exs.,2.V.1982), 須磨[戸沢,1936], 多井畑(1ex.,
 19.VI.1990), 八多町屏風(1ex.,4.VI.1993,etc.).
 加西市畑(9exs.,29.VI.1974,etc.).
 神崎郡大河内町川上(2exs.,18.VI.1977,etc.).
 宍粟郡坂の谷(2exs.,22.VII.1979).
 水上郡[山本,1958], 山南町(1ex.,1.VII.1990).
 豊岡市愛宕山[高橋,1975].
 養父郡氷の山(2exs.,22.VII.1958).
 美方郡扇の山[辻,岸田,1972].
 鉢伏山[高橋,1975].

5. *Nacerdes (Xanthochroa) katoi* (Kono,1932)

カトウカミキリモドキ

アオカミキリモドキに似るが第5腹板は♀では小さいが深くえぐられる。その両側各片の先端はやや丸みを帯び、生殖節の両葉は正中線で接し後方に広がる。

兵庫県下の個体数はそれほど多くない。

産地.

兵庫県[黒佐,1958, 藤田,1998].
 川西市能勢妙見山(1♂,30.VII.1982).
 神戸市逢山峡(1ex.,1.VII.1986).
 飾磨郡曾彦山(5exs.,14.VII.1957).
 神崎郡笠形山(1ex.,12.VI.1966).
 多可郡鳥羽(1ex.,5.VII.1975).
 揖保郡新宮町福原(1ex.,22.VI.1992).
 宍粟郡音水(2exs.,11.VI.1982).
 美方郡扇ノ山[辻,岸田,1972].

6. *Nacerdes (Xanthochroa) caudata* (Kono,1936)

シリナガカミキリモドキ

アオカミキリモドキに似るが雌雄ともに尾端が細

長く後方へ突出し、とくに♂ではそれが著しく、背面から見ると上翅末端から後方へ突出する(陰茎が細長く突出する)。

灯火に飛来する。幼虫は針葉樹の朽木の材の中へ穿孔する。

兵庫県ではアオカミキリモドキに比して少ない。産地.

兵庫県[黒佐,1958, 溝田,1998].
 川西市一の鳥居(1ex.,17.VI.1954).
 飾磨郡曾彦山(1ex.,14.VII.1957).
 宍粟郡音水(2exs.,11.VI.1972,etc.), 水谷(1ex.,19.VI.1981).
 養父郡氷の山(1ex.,21.VII.1958,etc.).

7. *Nacerdes (Xanthochroa) wadai* (Nakane,1954)

ワダカミキリモドキ

本種は和田義人博士が神戸摩耶山で採集した1♂を Holotype, 柴内俊一氏が神戸(場所不明, 灘区?)で採集した1♀を Paratype に中根猛彦博士が新種記載されたものである(1954)。やや大型で前胸部、各肢とともに腹面も暗褐色を帯び、藍緑光沢を有する。♀の第5腹板は先半圧下され、正中線上は隆起し、先端はややとがる。♂の尾節板は屋根形、第5腹板は楕円形に広く切れ込み、生殖節の両葉はやや短くて腹端を越えず、陰茎は幅があって先端は背方に強く曲がる。

一応日本の本州(東海以西)、中国、九州に分布となっているが、そう多くない種である。

兵庫県下では六甲山系での記録以外は知られていない。

産地.

兵庫県[溝田,1958].
 Kobe,Mayasan[Nakane,1954, 中根,伊賀,1955, 黒佐,1958].
 神戸市灘,篠原伯母野山町(3exs.,14.VI.1997, Ina-hara-leg., 高橋,1957, 稲畑,1998).

8. *Nacerdes (Xanthochroa) killeri* (Harold,1878)

キイロカミキリモドキ

背面は橙黄色、腹面もほぼ同色、肢は大部分が黒色。触角の第3節から第9節までほぼ同長。

成虫は花や灯火に集まる。幼虫は針葉樹の朽木中に穿孔する。

兵庫県では広く分布、やや普通に見られる種である。

産地.

兵庫 [溝田,1958].
 川辺郡猪名川町三草山 (1ex.,5.VII.1980).
 川西市見野,笹部,大和 [仲田,1970,1978,1982], 一の
 鳥居 (2exs.,22.VI.1951), 能勢妙見山 (2exs.,30.
 VII.1982).
 伊丹市 [河上,1984].
 尼崎市西南部 [新家,1991].
 宝塚市玉瀬 [芦田,1993].
 神戸市 [黒佐,1953], 六甲山 (1ex.,10.VII.1955,etc.),
 二十渉 (1ex.,26.VI.1955), 金剛童子山 (1ex.,14.
 VII.1982), 藍那 (3exs.,14.VII.1978,etc.), 妙法寺
 (1ex.,23.VI.1979), 逢山峡 (4exs.,2.VII.1982), 八
 多町屏風 (1ex.,23.VII.1993).
 明石市明石公園 (1ex.,26.VI.1976).
 三木市細川中 (1ex.,26.VII.1985), 口吉川 (3ex.,14.
 VII.1986,etc.).
 加東郡東条町森 (2exs.,22.VI.1984,etc.), 社町三草
 (10exs.,6.VII.1989).
 美囊郡吉川町 (1ex.,27.VI.1985).
 小野市山田 (1ex.,23.VI.1987).
 加西市畑 (17exs.,27.VI.1974,etc.).
 多可郡三谷 (2exs.,13.VII.1975).
 神崎郡大河内町川上 (1ex.,18.VI.1977,etc.).
 飾磨郡曾彦山 (3exs.,14.VII.1957).
 揖保郡新宮町福原 (2exs.,15.VII.1992).
 相生市三濃山 (3exs.,6.VII.1973).
 宍粟郡波賀町水谷 (12exs.,17.VII.1981), 音水
 (2exs.,15.VII.1973,etc.), 坂の谷 (1ex.,22.VII.
 1979).
 多紀郡雨石山 [林ほか,1995].
 水上郡 [山本,1958], 山南町 (1ex.,5.VII.1990).
 出石郡但東町中藤 [高橋,1963].
 豊岡市妙楽寺,福田 [高橋,1975].
 城崎郡三川山 [高橋,1975].
 養父郡氷の山 (6exs.,22.VII.1957,etc.).
 美方郡鉢伏山 [高橋,1975], 扇ノ山 [辻,1963, 辻,岸
 田,1972].

9. *Nacerdes (Xanthochroa) lutipennis* (Marseul,
 1876) キバネカミキリモドキ
 上翅のみが黄褐色, その他はすべて黒色. ♂の陰
 茎は基部がやや幅広く, 先端は上方へ鉤状に曲がる.
 成虫は花に集まるほか灯火にも飛来する. 幼虫は針
 葉樹の朽木中で蛹化する.
 兵庫県下には広く分布している.

産地.

兵庫県 [黒佐,1958, 溝田,1998].
 川西市見野,大和,笹部 [仲田,1970,1878,1982], 能勢
 妙見山 (4exs.,30.VII.1982).
 宝塚市宝塚大橋 [新家,1989], 売布が丘,武庫川町
 [芦田,1993].
 神戸市山の街 (1ex.,1.VI.1958), 逢山峡 (3exs.,1.VII.
 1986,etc.), 鳥原 (1ex.,4.VII.1976,etc.), 藍那
 (2exs.,21.IV.1993).
 小野市山田 (1ex.,23.VI.1987).
 加東郡社町三草 (2exs.,6.VII.1989,etc.).
 加西市畑 (3exs.,21.VI.1975).
 神崎郡大河内町川上 (1ex.,18.VI.1977,etc.).
 宍粟郡波賀町水谷 (2exs.,17.VII.1981), 音水 (1ex.,
 15.VII.1973).
 水上郡 [山本,1958], 市島町塚原 [高橋,1977].
 豊岡市妙楽寺 [高橋,1975].
 養父郡氷の山 (2exs.,21.VII.1958,etc.).
 美方郡鉢伏山 [高橋,1975], 扇の山 [辻,岸田,1972].

10. *Nacerdes (Xanthochroa) osawai* (Nakane,1959)

オオサワカミキリモドキ
 全体に褐色を帯びている. 翅端は多少とも黒い.
 体下面は大部分暗褐色, ♂の尾節板は大きく三角
 形にえぐられ,第5腹板は中央まで深く裂開し, 生殖
 節の両葉は大きく, 先端は幅広く丸くなる.
 ♀の第5腹板はやや長く緩く弧状に狭まり, 後縁
 中央は小さくえぐられている.
 兵庫県下での記録は少ない.

産地.

川西市笹部 [仲田,1982].
 美方郡扇の山 [辻,岸田,1972].

11. *Nacerdes (Xanthochroa) spiniconis* (Nakane,
 1954) コゲチャカミキリモドキ

中根猛彦博士により紀伊大台ヶ原産を Holotype
 に, allotype に上高地産, paratype に上高地近くの島
 々谷でもって記載された種である (1954).
 山地性の種であり, 県下では氷ノ山で採集された
 ものが知られているだけである.

産地.

養父郡氷の山 (1ex.,21.VII.1958).

Tribe Ditylini ミヤマカミキリモドキ族

12. *Chrysanthia viatica* Lewis,1895

スジカミキリモドキ

体は藍色を帯びた黒色，上翅は銅光沢を帯びた赤紫色，左右の眼は左右の触角の隔たりよりも離れている。上翅の隆起縦条は弱い。6月頃から山地の花に集まるといわれているが県下での記録は次のものが知られているだけである。

産地。

宍粟郡音水(2exs.,25.VI.1972)。

Subfamily Oedemerinae カミキリモドキ亜科

Tribe Ascierini フトカミキリモドキ族

13. *Indasclera brunneipennis* (Lewis,1895)

ハネアカカミキリモドキ

黒色で触角，脛も黒く，上翅はやや淡い赤褐色である。♀では黒色毛を装うが♂ではとくに明るく，時に黄色に近い淡色毛を装う。花に集まる。

県下では北部山地帯に知られているだけである。産地。

兵庫県[溝田,1998]。

養父郡水の山(1♀,25.VIII.1959), [1♀,19.VII.1940, Ohada leg., 黒佐,1958]。

美方郡扇の山[1♂,18.VII.1963, 辻,1963, 辻,岸田, 1972,5.VII.1973, 高橋,1975]。

14. *Ischnomera nigrocyanea* (Lewis,1895)

アオグロカミキリモドキ

暗青藍色で光沢が鈍く，とくに上翅は光沢がない。背部はやや平たい。上翅の縦隆線は4条で最外側のものは外縁に接近して走る。

兵庫県下では普通に見られると思われるが，記録が大変少ない。

産地。

川辺郡猪名川町木間生[仲田,1978]。槻並中[仲田, 1982]。

相生市三濃山(1ex.,8.VI.1974)。

美方郡扇ノ山[辻,1963, 辻,岸田,1972]。

15. *Eobia cinereipennis* (Motschulsky,1866)

ハイイロカミキリモドキ

暗褐色から黒色で，触角，前胸，肢は通常黄褐色，上翅は暗色で弱い緑銅光沢を帯び，体下は大部分暗色。灰色毛をかなり密に装う。前胸背の点刻は小さいがかなり密である。

沿海性のようで海岸付近に多く，灯火に飛来するとのことであるが，県下での記録は少ない。

産地。

兵庫県[溝田,1998]。

神戸[1♂,6.VII.1940, 黒佐,1958]。

16. *Eobia chinensis* (Hope,1842)

ツグロカミキリモドキ

黄褐色から橙黄色で，黄色毛を装う。頭，上翅は黒から暗色。触角は通常基部のみ暗色，腹部，脛ふ節等は時に暗色を帯びる。頭は密に点刻されるが，前後でやや疎，両眼間の隔たりは触角間とほぼ同じである。触角第2節は次節の1/3の長さで，前胸背の点刻はかなり密で，上翅は弱い3条の縦隆線があり密に点刻される。

県下での記録は大変少ない。

産地。

兵庫県[溝田,1999]。

神戸市本山町[5exs.,16-18.VII.1937, Ikoma leg., 1ex.,13.VII.1940, Taniguchi leg., 黒佐,1944,1958]。

17. *Eobia florilega* Lewis,1895

ハラグロランプカミキリモドキ

黄褐色で灰色毛を装い，口器，ふ節は多少色が濃く，腹部は大部分が暗褐色から黒色。前胸背の点刻は強く密である。上翅の隆線は3条で明らか。外側のものは肩の直下よりで外縁と平行し後方で消える。灯火に来る。兵庫県下の記録は大変少ない。

産地。

Kobe[Lewis,1895, 1♂,6.VII.1940, 黒佐,1958]。

Tribe Oedemrini カミキリモドキ族

18. *Oedemera (Oncomera) venosa* (Lewis,1895)

マダラカミキリモドキ

汚黄褐色，前胸背の両側と中央縦条，各基節，前中脛節の大部分，腿節の端部，上翅の隆線などは濃褐色から黒色である。前胸背の点刻は弱く，頭は中央にくぼみがあり，胸背には3つのくぼみが見える。上翅背部の2縦隆線の間に2~3の横脈がある。

県の中央部から北の地域での記録はわりとある。産地。

兵庫県[溝田,1998]。

宍粟郡福知溪谷(1ex.,20.VI.1976), 音水(1ex.,21.VI. 1959,etc.), 赤西(1ex.,27.V.1979)。

氷上郡[山本,1958]。

城崎郡竹野町三原,三川山[高橋,1975].
 養父郡氷の山[高橋,1959,1975].
 美方郡扇の山[辻,1963,辻,岸田,1972].

19. *Oedemera (Oedemera) manicata* Lewis,1895

キアシカミキリモドキ

体は暗緑のくすんだ金属色であるが、各基、転節及び前肢(腿節を除く)は、黄色である。♂の後腿節は肥大する。花上に見られる種で、県下にも広く分布している。

産地。

川辺郡猪名川町上阿古谷,木間生[仲田,1978,1982].
 川西市一の鳥居,笹部,大和[仲田,1978].
 宝塚市玉瀬[芦田,1993].
 神戸市丹生山(2exs.,18.V.1958),谷上(2exs.,5.V.1955,etc.),八多町屏風(7exs.,12.V.1993,etc.).
 三木市大村(3exs.,10.V.1990).
 神崎郡大河内町川上(3exs.,4.VI.1977,etc.).
 揖保郡新宮町福原(10exs.,15.V.1992,etc.).
 相生市三濃山(6exs.,7.V.1972,etc.).
 宍粟郡福知溪谷(2exs.,20.VI.1976),原(11exs.,11.V.1979),音水(3exs.,31.V.1970,etc.).
 多紀郡雨石山[林ほか,1995].
 氷上郡[山本,1958].
 城崎郡日高町奈佐路(3exs.,19.VI.1986).
 養父郡氷の山[高橋,1975].
 美方郡扇ノ山[辻,1963,辻,岸田,1972].

20. *Oedemera (Oedemera) sexualis* (Marseul,1876)

フタイロカミキリモドキ

体は通常緑色の金属光沢があるが、時に藍色を呈する。触角基部は赤褐色または端部と同じく暗色。♂は肥大した後腿節が橙黄色、♀は肢が緑色であるが腹部は橙黄色。

県下では限られた地点で記録がある。島嶼並びに海岸線沿いには分布すると考えられる。

産地。

三原郡南淡町福良丙(門崎)[近藤,1996].
 洲本市由良町[堀田,1978].
 飾磨郡家島[畑中,辻,1974].
 赤穂市生島[相坂ほか,1996,高橋,1996].
 美方郡浜坂町城山[永幡,1997].

21. *Oedemera (Oedemera) lucidicollis* (Motschulsky, 1866)

モモブトカミキリモドキ

常に濃藍色である。前胸は同色であるが、時に上

面中央が縦に赤褐色を呈する個体がある。

ごく普通に見られる種で、平地では春から初夏ごろ花上に乗る。県下では各地に普通である。

産地。

兵庫県[黒佐,溝田,1998].
 洲本市先山[堀田,1978].
 津名郡岩屋(1ex.,25.IV.1959).
 川西市一の鳥居,笹部[仲田,1978,1982].
 川辺郡猪名川町木間生[仲田,1978,1982].
 伊丹市[河上,1984].
 宝塚市玉瀬,売布が丘[芦田,1993].
 神戸市保久良山(2exs.,1.V.1975),鳥原(1ex.,19.IV.1955,etc.),石井ダム(1ex.,1.V.1992),藍那(2exs.,21.IV.1993,etc.),山の街(2exs.,11.IV.1954,etc.),谷上(5exs.,3.V.1957,etc.),北鈴蘭台大山公園(2exs.,7.V.1982),丹生山(5exs.,5.V.1956),木津(2exs.,11.V.1984),妙法寺(4exs.,23.IV.1978,etc.),須磨[戸沢,1936],舞子(1ex.,10.V.1985),伊川谷(1♂1♀,13.V.1988),多井畑(1ex.,19.VI.1990).
 三田市内(1ex.,29.V.1983,Y.Hachitani leg.).
 美穂郡吉川町(1ex.,30.V.1985),奥山(4exs.,8.V.1986),吉川町(1ex.,21.V.1992).
 小野市山田(1ex.,16.V.1987),来住町(6exs.,9.V.1991).
 加東郡東条町藪(3exs.,29.IV.1984,etc.),社町三草(1ex.,7.V.1987).
 神崎郡笠形山(1ex.,12.V.1975),大河内町川上(2exs.,7.V.1977,etc.).
 多可郡鳥羽(2exs.,29.IV.1972,etc.),白山(4exs.,27.V.1973,etc.).
 龍野市神岡町(3♀,26.V.1988,etc.).
 相生市三濃山(1ex.,3.V.1969,etc.).
 宍粟郡音水(1ex.,20.VII.1959,etc.),坂の谷(8exs.,9.VI.1973).
 多紀郡雨石山[林ほか,1995].
 氷上郡[山本,1958].
 豊岡市大岡山[高橋,1975].
 城崎郡城崎(2exs.,17.V.1970),竹野町三原,三川山[高橋,1975],日高町奈佐路(2exs.,22.V.1996).
 養父郡氷の山[高橋,1975].
 美方郡扇ノ山[辻,1963,辻,岸田,1972].

<参考文献>

Kono,H.(1932) Die Nacerdinen Japans.
 Ins. Mats., 6 : 138-144.

- Kono, H. (1937) Neue und wenig beharnte Kafer Japan II: Oedemeridae. Ins. Mats., 13(4): 135-136.
- 黒佐和義 (1956) 皮膚炎の原因となる日本産鞘翅目に関する文献集 衛生動物 Vol.7, No.3/4: 258-264.
- 黒佐和義 (1958) カミキリモドキ類とこれによる被害について 衛生動物 Vol.9, No.3: 130-148.
- 黒佐和義 (1958) アオカミキリモドキの生態について 衛生動物 Vol.9, No.4: 235-244.
- Kurosa, K. (1977) Poisonous Beetles. Animals. med. import. Nansei Islands in Japan. pp.123-131.
- 黒佐和義・渡辺 宏 (1958) アオカミキリモドキの有毒物質について 衛生動物 Vol.9, No.3: 200-201.
- Lewis, G. (1895) On the Cistelidae and other Heteromorous species of Japan. Ann. Mag. Nat. Hist. 6(15): 250-278, 422-448.
- 宮武陸夫 (1985) 原色日本甲虫図鑑(III) pl.68-69, p.401-408 (保育社・大阪).
- 溝田浩二 (1998) 日本産カミキリモドキ分布地図: 文献記録の整理 自然史研究年報 Vol.3: 89-114.
- Nakane, T. (1954) New or little-known Coleoptera from Japan and its adjacent regions, XI -Oedemeridae- Sci. Rep. Saikyo Univ., 1(4): 33-50.
- 中根猛彦 (1955) 日本の甲虫(29) 新昆虫 Vol.8, No.11/12: 51-55, 156figs.
- 中根猛彦 (1956) 日本の甲虫(30) 新昆虫 Vol.9, No.3: 53-55, 46figs.
- 中根猛彦 (1963) 原色昆虫大図鑑第2巻 pl.129, 130, p.257-260. (北隆館・東京)
- 高橋寿郎 (1962) 兵庫県のカミキリモドキ科 兵庫生物4(3/4): 175-176.

きべりはむしの野外での遅い出現記録
 故高橋寿郎氏遺稿集No. 5
 兵庫昆虫同好会事務局編

きべりはむしの出現期は6月下旬頃からであり、一番多く見られるのは7月、8月上旬であるが、野外でも飼育でも9月に見られることはあまり多くはないものの若干知られている。ところでこの度、内藤隆夫氏がオオキノコムシ調査に赤西溪谷に行かれ

て林床に落ちた枯れ枝にとまっていたきべりはむしを採集しておられる(1999年10月10日)。近くには食草らしきものは見られなかったとのことであるが、この時期、六甲山系より北西の方にあたる赤西溪谷できべりはむしが得られたということは記録としてとどめておかねばと考える。内藤氏の御了解を得てここに報告する次第である。もっとも、10月のきべりはむしの採集記録は三田市小野の聖徳寺の庭でlex.採集というのがある(県立自然系博物館準備室ニュース(2):4,1990)。

10月に野外でというのは大変珍しいと思うが、昨今のように温暖化で10月でも結構暖かい日が多くなってきているようだと出現期も変わってくるかも知れない。(XI.1999)

兵庫県から新記録のオオキノコムシ
 故高橋寿郎氏遺稿集No. 6
 兵庫昆虫同好会事務局編

内藤隆夫氏による赤西溪谷、氷ノ山でのオオキノコムシの調査の結果、兵庫県から新しく記録された種がいくつかある。

兵庫県のファウナに新しく加えられた種をここに紹介する。

Aporotritoma kirishimensis (Araki, 1943) キリシマチビオオキノコムシ 赤西溪谷(1999年9月)。

従来、九州の分布が知られていただけである。

Renaria atrocyarer Lewis, 1887 クロヒラタオキノコムシ 赤西溪谷(1999年10月)。

Tritoma cenchrus (Lewis, 1887) コモンチビオオキノコムシ 赤西溪谷(1999年8~9月)。

Tritoma osawai Nakane, 1981 オオサワチビオオキノコムシ 赤西溪谷、氷ノ山(1999年8~9月)。

Tritoma triparturia (Lewis, 1887) カタバニチビオオキノコ 赤西溪谷(1999年10月)。

Microsternus higonius Lewis, 1887 ヒゴムネビロオオキノコムシ 赤西溪谷(1999年8~9月)。

Microsternus tokioensis Nakane, 1961 トウキョウムネビロオオキノコムシ 赤西溪谷(1999年9月)。

ほかに、*Aporotritoma yasumatsui* (Nakane, 1948) キボシチビオオキノコムシが内藤氏により赤西溪谷から記録されているが、この種はすでに林 靖彦博士等により多紀郡雨石山(現篠山市)からの記録がある(KASUGA, No.11, 1995)。